

死ぬまでSEX またしたい、まだしたい、もっとしたい60歳から「セカンド童貞」脱出術

六代目山口組に「破門された男」リンチ死の真相

やつてはいけない歯科治療スケル
現役歯科医、歯科技工士が教える

悪徳歯医者

の見分け方

大特集 伝説のからあげ
大論争 エスカレーターは
片側に乗るな

週刊 ハイスクール

お宝満載 プロ野球
セクシー始球式



増子よし

元アイドル
三上悠亜
マンゲ袋とじ

2016 Sep. 9.9
特別定価430円

再来年のNHK大河ドラマ「西郷隆盛」に決定!

「人間国宝」大谷翔平が
ソフトバンクをぶつ潰す

死ぬまでSEX
オーバー60歳から

「セカンド童貞」脱出術

ここまで「あこぎ」だった
ここまで「あこぎ」だった
大解剖 手数料のカラクリ

葬式の「生前契約」
が増えて
いるらしい

内閣府調査でわかつた悲しい現実
日本の老人は世界で一番友達が少なかつた!

蓮舫VS前原 まるで学級委員選びの
民進党「お笑い代表選」



年収、貯蓄でここまで決まる あなたの「死に方」

高級有料老人ホームでの看取られ死からグループホームでの「孤独死」まで

力ネで差がつく
「天国」と「地獄」

大反響第3弾
抗議殺到!
でもやります

名古屋ぎらり「食い物編 この異次元の 食文化を見よ!」

大反響「苦しくない」「痛くない」「後悔しない死に方第3弾】
行き着く先は「高級老人ホーム」か
「グループホーム」「老健」なのか?

年収・貯蓄で あなたの「死に方」 ここまで差がつく!

戦慄の
シミュレー
ション

お金次第で行き
着く先は変わる
(写真はイメージ)

コンシェルジュが身の周りをケアし、
専門スタッフと「延命治療」について
話し合える施設での「穏やかな死」も
あれば、家庭崩壊、たらい回しの末の
とにかく辛い死もある——こんなに
違う、力ネがあるかで全然違う!

うにも、面倒を見てくれる
人はいない。妻には数年前
に先立たれ、離れて暮らす
息子夫婦も時間的・経済的
な余裕はない。
当然ながら、施設への入
所が選択肢として挙がった
が、民間の有料老人ホーム
は軒並み月額20万円以上。
年金とわずかな貯金ではど
ても賄えないし、子供から
の援助も期待できそうにな
った。しかし自宅へ戻ろ
になるのか——。
収入や貯蓄がどれだけあ
るかで、その人の「死に方」
が大きく変わる。そうした
現実が目の前にある。

本来であれば、公的補助
によって整備された特別養
護老人ホーム(特養)が死
に場所を見つけられない人
にとっての“セーフティネ

本当は特養に入れればい
いんだが……。
都内に住む70代のYさんは、
昨年冬に一人暮らしの
自宅で転倒し、大腿骨を骨折
して都内の総合病院に入
院した。

手術を受け、リハビリを

続けて症状が安定すると、
病院を出なければならなく
なった。しかし自宅へ戻ろ

入れる施設が
どこにもない

「十分に長く生きた。あと
はせめて穏やかに逝ければ」——そんな、ささやかな願いも、力ネがなければ叶えられない。「死に方格差」は拡大する一方で、現役引退後の収入や貯金額により、入ることのできる施設、受けられるケア、家族との関係性まで大きく変わってしまう。専門家の協力のもとに行なったシミュレーション結果は、衝撃的なものだった。

「あと半年」と告げられ財産整理するも、20年以上生きて経済困窮の悲惨なケースも

信じてはいけない 余命・生存率の宣告



医者から宣告される「余命」や「生存率」は、人生の最期に大きな影響を及ぼす。いつ死ぬかによって、また死期を意識するかどうかによって、その人の「死に方」は全く変わってくるからだ。

だが、医者が言うその数字は、必ずしも正しいとは限らないのである。

*
「半年は難しいでしょう。
余命はあと5か月です」

19年前にNPO法人『が

んを学ぶ青葉の会』代表の松尾健子さん（70）がスクリス胃がんと診断された際、医師から告げられた余命宣告だ。

その瞬間、当時51歳の若さだった松尾さんは頭の中に爆弾を落とされたような感覚に陥った。隣で聞いていた姉はショックで倒れ、夫はパニックで持っていたカバンの口の開け閉めをひたすら繰り返すばかりだったという。

「半年は難しいでしょう。
余命はあと5か月です」

19年前にNPO法人『が

余命・生存期間中央値！?

「10日後に手術することが決まりました。帰宅後、家族に見られない場所で穴を開くんじやないかと思うほど部屋の床を叩き続けました。それまでは普通に食べていた食事もその日を境に受けつけなくなり、日に日に生きる気力を失つていきました」（松尾さん）

不安と悲しみで憔悴する一方の10日間を過ごした松尾さんだったが、手術は成功した。手術で開腹した際にがん組織が内部まで深く進行する浸潤の程度はわずかで、とても余命5か月を宣告される状態ではなかつたことがわかつたという。

松尾さんがこう振り返る。

「余命宣告はまったく外れていました。何を根拠に言った数字だったのでしょうか。その数字が患者の人生にどれだけ悪影響を及ぼすか医者はわかっていない」

余命と聞くと、大半の人には「死ぬまでに残された命の期間」と考えるだろう。

だが、一般に医者が患者に告げる数字は、その人の残りの寿命を指すわけではなく

い。ある病気の「生存期間中央値」なるものを告げるケースが大半だという。生存期間中央値とは、その病気に罹った患者群の半数が死亡するまでの期間である。例えば100人の患者グループを対象とした場合、50人目が亡くなった時点（期間）を生存期間中央値という。

大腸がん患者の余命が「2年半」と告げられるケイズが多いのは、調査した

大腸がん患者群の生存期間中央値が30・9か月だったとの結果による。

患者側はつきり自分の病状や進み具合などを勘案されて弾き出された数字と思ってしまうが、全く無関係なのだ。

日本医科大学・武藏小杉病院腫瘍内科の勝俣範之氏が話す。

「いわゆる余命が、生存期間中央値であることを説明しない医者が多いため、混

乱の要因となる一面があります。

余命は患者が亡くなるまでに3週間を切つていれば85%の確率で当たると言われます。余命2～3週だとむくみやせん妄、呼吸困難など全身のアクティビティ（活動）が目に見えて下がってくるので、客観的に判断しやすくなるのです。しかし3週間を超えると3分の1も当たらないという研究データもあります」

告知から1時間後、浅野氏は「俺は病気と闘うから。勝つから支援してくれ」と妻に宣言。浅野氏が短時間で闘病に専心する気持ちへ切り替えができるのも、余命の本当の意味を知ったことが影響している。

「病名を告げられた時も目の前が真っ暗になるほどショックでしたが、医師から『余命11か月』と告知された時も同じぐらいショックでした。ただ、生存期間中央値について理解すると、命宣告を正確に、そして前向きに捉えられる患者は多くない。

だが、浅野氏のように余命宣告を正確に、そして前向きに捉えられる患者は多くない。

一般的に余命宣告を受ける医者の代表格はがんだが、病氣の代表格はがんだが、老衰や重度の肝硬変、拡張

（ATL）を発症し、骨髄移植を受けた元宮城県知事の浅野史郎氏が言う。

「病名を告げられた時も目

の前が真っ暗になるほどシ

ョックでしたが、医師から

「余命11か月」と告知され

た時も同じぐらいショックでした。ただ、生存期間中

央値について理解すると、命宣告を正確に、そして前

向きに捉えられる患者は多くない。

一般的に余命宣告を受ける

医者の代表格はがんだが、

老衰や重度の肝硬変、拡張

（ATL）を発症し、骨髄移植を受けた元宮城県知事の浅野史郎氏が言う。

「病名を告げられた時も目

の前が真っ暗になるほどシ

ョックでしたが、医師から

「余命11か月」と告知され

た時も同じぐらいショックでした。ただ、生存期間中

央値について理解すると、命宣告を正確に、そして前

向きに捉えられる患者は多くない。

一般的に余命宣告を受ける

医者の代表格はがんだが、

老衰や重度の肝硬変、拡張

（ATL）を発症し、骨髄移植を受けた元宮城県知事の浅野史郎氏が言う。

「病名を告げられた時も目

の前が真っ暗になるほどシ

ョックでしたが、医師から

「余命11か月」と告知され

た時も同じぐらいショックでした。ただ、生存期間中

央値について理解すると、命宣告を正確に、そして前

向きに捉えられる患者は多くない。

一般的に余命宣告を受ける

医者の代表格はがんだが、

老衰や重度の肝硬変、拡張

（ATL）を発症し、骨髄移植を受けた元宮城県知事の浅野史郎氏が言う。

「病名を告げられた時も目

の前が真っ暗になるほどシ

ョックでしたが、医師から

「余命11か月」と告知され

た時も同じぐらいショックでした。ただ、生存期間中

央値について理解すると、命宣告を正確に、そして前

向きに捉えられる患者は多くない。

一般的に余命宣告を受ける

医者の代表格はがんだが、

老衰や重度の肝硬変、拡張

（ATL）を発症し、骨髄移植を受けた元宮城県知事の浅野史郎氏が言う。

「病名を告げられた時も目

の前が真っ暗になるほどシ

ョックでしたが、医師から

「余命11か月」と告知され

た時も同じぐらいショックでした。ただ、生存期間中

央値について理解すると、命宣告を正確に、そして前

向きに捉えられる患者は多くない。

一般的に余命宣告を受ける

医者の代表格はがんだが、

老衰や重度の肝硬変、拡張

（ATL）を発症し、骨髄移植を受けた元宮城県知事の浅野史郎氏が言う。

「病名を告げられた時も目

の前が真っ暗になるほどシ

ョックでしたが、医師から

「余命11か月」と告知され

た時も同じぐらいショックでした。ただ、生存期間中

央値について理解すると、命宣告を正確に、そして前

向きに捉えられる患者は多くない。

一般的に余命宣告を受ける

医者の代表格はがんだが、

老衰や重度の肝硬変、拡張

（ATL）を発症し、骨髄移植を受けた元宮城県知事の浅野史郎氏が言う。

「病名を告げられた時も目

の前が真っ暗になるほどシ

ョックでしたが、医師から

「余命11か月」と告知され

た時も同じぐらいショックでした。ただ、生存期間中

央値について理解すると、命宣告を正確に、そして前

向きに捉えられる患者は多くない。

一般的に余命宣告を受ける

医者の代表格はがんだが、

老衰や重度の肝硬変、拡張

（ATL）を発症し、骨髄移植を受けた元宮城県知事の浅野史郎氏が言う。

「病名を告げられた時も目

の前が真っ暗になるほどシ

ョックでしたが、医師から

「余命11か月」と告知され

た時も同じぐらいショックでした。ただ、生存期間中

央値について理解すると、命宣告を正確に、そして前

向きに捉えられる患者は多くない。

一般的に余命宣告を受ける

医者の代表格はがんだが、

老衰や重度の肝硬変、拡張

（ATL）を発症し、骨髄移植を受けた元宮城県知事の浅野史郎氏が言う。

「病名を告げられた時も目

の前が真っ暗になるほどシ

ョックでしたが、医師から

「余命11か月」と告知され

た時も同じぐらいショックでした。ただ、生存期間中

央値について理解すると、命宣告を正確に、そして前

向きに捉えられる患者は多くない。

一般的に余命宣告を受ける

医者の代表格はがんだが、

老衰や重度の肝硬変、拡張

（ATL）を発症し、骨髄移植を受けた元宮城県知事の浅野史郎氏が言う。

「病名を告げられた時も目

の前が真っ暗になるほどシ

ョックでしたが、医師から

「余命11か月」と告知され

た時も同じぐらいショックでした。ただ、生存期間中

央値について理解すると、命宣告を正確に、そして前

向きに捉えられる患者は多くない。

一般的に余命宣告を受ける

医者の代表格はがんだが、

老衰や重度の肝硬変、拡張

（ATL）を発症し、骨髄移植を受けた元宮城県知事の浅野史郎氏が言う。

「病名を告げられた時も目

の前が真っ暗になるほどシ

ョックでしたが、医師から

「余命11か月」と告知され

た時も同じぐらいショックでした。ただ、生存期間中

央値について理解すると、命宣告を正確に、そして前

向きに捉えられる患者は多くない。

一般的に余命宣告を受ける

医者の代表格はがんだが、

老衰や重度の肝硬変、拡張

（ATL）を発症し、骨髄移植を受けた元宮城県知事の浅野史郎氏が言う。

「病名を告げられた時も目

の前が真っ暗になるほどシ

ョックでしたが、医師から

「余命11か月」と告知され

た時も同じぐらいショックでした。ただ、生存期間中

央値について理解すると、命宣告を正確に、そして前

向きに捉えられる患者は多くない。

一般的に余命宣告を受ける

医者の代表格はがんだが、

老衰や重度の肝硬変、拡張

（ATL）を発症し、骨髄移植を受けた元宮城県知事の浅野史郎氏が言う。

「病名を告げられた時も目

の前が真っ暗になるほどシ

ョックでしたが、医師から

「余命11か月」と告知され

た時も同じぐらいショックでした。ただ、生存期間中

央値について理解すると、命宣告を正確に、そして前

向きに捉えられる患者は多くない。

一般的に余命宣告を受ける

医者の代表格はがんだが、

老衰や重度の肝硬変、拡張

（ATL）を発症し、骨髄移植を受けた元宮城県知事の浅野史郎氏が言う。

「病名を告げられた時も目

の前が真っ暗になるほどシ

ョックでしたが、医師から

「余命11か月」と告知され

た時も同じぐらいショックでした。ただ、生存期間中

央値について理解すると、命宣告を正確に、そして前

向きに捉えられる患者は多くない。

一般的に余命宣告を受ける

医者の

が、月1回のATLの血液検査で、前立腺がんの腫瘍マーカーであるPSAの値が数か月前から上昇してい

た。そうすると自然と精神が落ちつき、冷静で正しい選択をすることができる「死んだらどうしよう」や「娘の結婚式に出たい」といった余計なことは考えなかつた。それでも「死んで死ぬこと」だけを考えました。だから、「死んで死ぬこと」だけを捉え、病気を治すことだけを考えました。

実は浅野氏は今年8月に

前立腺がんの全摘手術を行なったばかりだ。検査でが

んが確認されたのは5月だ

が、月1回のATLの血液

検査で、前立腺がんの腫瘍

マーカーであるPSAの値

が数か月前から上昇してい

る」と思つたのです」

吉野さんは「抗がん剤治療などで副作用に苦しんで、再発に怯える日々を送るぐら

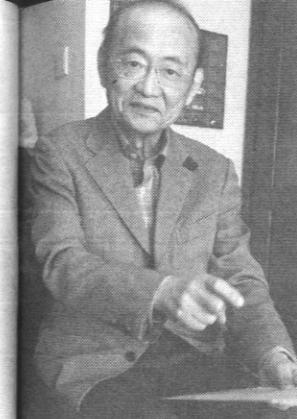
いなら、これまで通りのシコリが陥没して消滅し

た現在の病状について、吉野さんは「昨年から、患部の腫瘍がんで亡くした木村仁美

■主ながんの5年生存率(%)

部位	男性	女性	全体
胃	65.3	63.0	64.6
大腸	72.2	69.6	71.1
肝臓	33.5	30.5	32.6
脾臓(すいぞう)	7.9	7.5	7.7
肺	27.0	43.2	31.9
前立腺	97.5	—	97.5
ぼうこう	78.9	66.8	76.1
悪性リンパ腫	62.9	68.5	65.5

国立がん研究センターより



余命から5年が経過しても元気な浅野氏

つたため、数年前から預金も底を尽き、困窮状態に陥りました。姉には幾度も「宝石やおカネを返して」と頼んでいるのですが、「自分の娘にあげてしまつて取り戻せない」の一点張り。余命宣告を真に受けたせいで、財産は失い、唯一の肉親である姉とも断絶状態。今後の生活のことも不安ですが、そ

う現実に打ちひしがれそうになる」(遠藤さん)

余命宣告が原因で、訴訟に発展したケースもある。

11年3月に、胃がんで「余命數か月」と告知された70代の女性が、ショックから家族も判別できないほどの意識障害に陥り、1年後にがんで死亡した。

余命は短く伝えるのが普通

「がん生存率」も多く人が誤解している代名詞だ。

現在、がん治療の現場で最も広く用いられているのは「5年生存率」だ。がん治療を始めてから5年後に生存している人の割合を示したものだ。

千葉県がんセンター研究所・がん予防センター部長

所長

三上春夫氏がいう。

「全国がん(成人病)セン

ター協議会の最新調査では、

全部位・全ステージのがん

の平均5年生存率は69・1

%となっています。

約7割

の人が5年経過した後も生

きている。ただし、このデ

ータが示しているのはそれ

だけです。誰がこのデータ

に当たはまるか分からな

い

タが示しているのはそれ

だけです。誰がこのデータ

【大反響「苦しくない」「痛くない」「後悔しない」死に方

第3弹】

棺まで生前に選べる時代になった
(大阪で開かれた終活のイベント)

PART 3

大人氣「華

一妻や子供に迷惑かけないもの

たという経験があるんです。
きっと父もそんな思いを
私にさせたくなかつただろ
うし、私も自分の葬儀では
子供に迷惑をかけたくない。
だから早割に申し込んだ。
申し込むと多少安くなるだ
けじやなく、"自分の葬式
にいくらかかるか"がわか
るので、その分だけはお金
をきちんと残しておくとか、
そういう手配ができます。

生前に葬儀の概要を決め
ておけるメリットとしては、
まず、前出の70代男性のよ
うに「妻や子供に迷惑をか
けずに済むという安心感」
を挙げる人が少なくない。
それに加えて、『自分の

思つたような葬儀にした
い”という思いが実現でき
る点も大きい。

北陸地方に住む70代の男
性はこういう。

「友人の葬儀に行つた時に
奥さんと話していたら”ど

にかく誰に連絡したらいいのかもわからずバタバタして、お葬式の中身は全部葬儀社にお任せ”といつていった。実は、友人は生きていた当時、“オレは白装束が嫌いだから、棺桶には自分

写真」を指定したり、「祭壇」や「棺」「骨壺」の選定などをした上で、すべてパッケージ化されたセットプランを選べるところもある。

「最近では、読経や戒名などの宗教儀礼をなしにして

棺も骨壺も決めておける

安になるからという理由で申し込みが増えていくのではないところだ。同社の早割サービスに申し込んだ代男性はこう語る。

「父の葬儀の時は、田舎だったこともあり自治会長さんにしてすべてを取り仕切ってもらつたんですが、葬儀社との値段交渉などに一切タッチしなかつた。それで請求書が来てから、思つてはよりもだいぶ高く困つたという経験があるんです。きっと父もそんな思いを私にさせたくないからだろ

早割というかたちを取らないまでも、自分の葬儀の規模、会場、料金や段取りなどを生前から相談できるサービスは多くの葬儀社が実施している。

遺族の相続対象と判断されるからです」
そのため、"生前に葬儀社ときちんと相談をしておく"というやり方が増え、業者側では割引チケット販

A black and white photograph capturing a group of people in traditional Japanese attire, possibly during a ceremony or a formal event. In the center-left, a man is seen from the side, wearing a dark Yukata with a light-colored sash tied in a knot at his waist. He appears to be walking towards the left of the frame. To his right, a woman in a dark business-style suit holds a rectangular framed portrait, looking towards the camera. Behind them, another individual in a dark Yukata is partially visible. The setting is outdoors, with trees and a building visible in the background. The overall atmosphere is somber and respectful.

の服を着て入
りたい”とよ
くいっていた
んです。結局
奥さんはその
ことを忘れて
いて白装束姿
で納棺された
それを見て、
“死ぬ時くら
い自分の思っ
たように戯に
たいな”と思
い、葬儀社に
相談に行くこ
とにした」

葬儀社によ
つては料金や
会場の規模に

「これ
ムができるないか」という話に
て、遺族に伝えられるシステム

より安心して取扱いをされ
ます。これまで初年度に5000枚

が売れ、2年目には2万8
000枚に達し、現在は3
万枚を超えていきます」

A black and white photograph showing a group of people gathered around a large, rectangular, white structure, likely a casket or a memorial plaque, which is resting on a stand. The people are dressed formally; one man in a suit is gesturing towards the object. In the background, there are doors and signs in Japanese, including one that reads "入場休憩コーナー" (Entrance Breakout Corner). A large floral arrangement is visible on the left. In the foreground, a person's back is to the camera, wearing a dark jacket with a logo on the sleeve that includes the characters "公益社".

「死に方」にこだわった末に、『自分の葬式も自分で取り仕切りたい』と考える人が増えるのは、自然なことかもしれない。そうした人たちの注目を集めるのが、葬儀の「生前契約」だ。

が生前に手配できるサービスへの申し込みが急増している。

ベンチャーエンターテイメント・オンラインが運営する「小さなお葬式」では、14年3月から「早割」のサービスを始めた。生前にコンビニ等で500円のチケットを購入しておくと、本格的な葬儀費用が割引になるというサービスだ(チケットは3親等内の親族の葬儀ま

で利用可能、最大6万600円の割引)。このサービスを始めたきっかけについて同社の広報担当者はこう説明する。「ある利用者の方から、『父が亡くなった後、残されたメモ書きにそちらの会社の番号があつたので連絡した』という電話をいたたたんです。その時に、ご本人が自らの葬儀について考

式の生前契約 死に方上手になれるのか

